

特記仕様書

第1 工事概要

工 事 名：消火設備部品更新工事

工事場所：航空自衛隊松島基地

工 期：契約締結日から令和9年3月31日まで

工事概要：消火設備の部品を更新する工事

第2 共通事項

1 仕様

本工事は、本特記仕様書及び図面によるほか、次の標準仕様書による。なお、特記仕様書の記載内容は、標準仕様書等の記載内容に優先するものである。また、これらの定めのない事項については、監督官との協議による。

(1) 公共建築工事標準仕様書（例）

(2) 公共建築改修工事標準仕様書（例）

2 立入制限

本工事のために基地内に入門する関係者は、指定された場所以外にみだりに立入りしてはならない。

3 施工場所及び周辺の清掃

施工場所及び周辺の道路等は、工事によって発生した粉じん、飛散した土砂等を常に清掃する。

4 現場管理

施工中は、現場代理人が責任者となり、常に安全確保に留意し現場管理を行い、災害及び事故防止に努める。また、現場の安全衛生は、労働安全衛生法その他関係法令に従って行う。

5 事故等報告

災害及び事故が発生した場合は、人命の確保を優先するとともに二次災害の防止に努め、その経緯を監督官に報告する。

6 作業日及び作業時間

作業時間は平日の0815～1700とし、休憩時間は1200～1300を基準とする。ただし、予め監督官の承諾を受けた場合はこの限りではない。また、夜間及び平日以外に工事を行う場合は、残業届出書により監督官に申請するものとする。

7 週休2日制工事

本工事は、現場閉所により週休2日を確保する「完全週休2日制工事（土日）」の試行対象工事である。

入札時においては、当初の予定価格から対象期間内の全ての週において、原則土日に現場閉所されている状態（完全週休2日）を前提とし、下記のとおり労務費等を補正し工事費を積算する。契約後、受注者は、工事着手前に完全週休2日の取組を希望

するか判断し、取組を希望しない場合は、月単位の週休2日に取り組むものとし、契約後に補正係数を変更するものとする。

(1) 週休2日の考え方は、以下のとおりである。

ア 完全週休2日（土日）とは、対象期間のすべての週において、原則として土曜日及び日曜日に現場閉所を行ったと認められることをいう。

イ 現場閉所日とは、巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、1日を通して現場や現場事務所が閉所された日をいう。なお、降雨、降雪、荒天、猛暑等の気象環境の変動によるほか、官側の運用上の都合による予定外の現場閉所日についても、現場閉所日数に含めるものとする。

ウ 月単位の週休2日とは、対象期間において、全ての月ごとに現場閉所日数の割合が28.5%（8日／28日）以上の水準に達していると認められることをいう。

エ 通期の週休2日とは、対象期間において、現場閉所日数の割合が28.5%（8日／28日）以上の水準に達していると認められることをいう。

オ 対象期間は、工事着手日から工事完成日までの期間とするが、そのうち、年末年始6日間及び夏季休暇3日間、工場製作のみの期間、工事全体の一時中止期間、受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間などは含まない。

(2) 週休2日の達成基準は以下のとおりである。

ア 完全週休2日（土日）とは、対象期間内の全ての週（原則として、土曜日から金曜日までの7日間とする。以下同じ。）ごとに現場閉所日数が2日以上水準に達する状態をいう。ただし、対象期間の日数が7日に満たない週においては、当該週の土曜日及び日曜日の合計日数以上の現場閉所を行っていれば、達成しているとみなす。

イ 月単位の週休2日とは、対象期間内の全ての月ごとに現場閉所日数の割合（以下「現場閉所率」という。）が28.5%（8日／28日）以上の水準に達する状態をいう。ただし、暦上の土曜日及び日曜日の日数の割合が28.5%に満たない月においては、当該月の土曜日及び日曜日の合計日数以上の現場閉所を行っていれば、達成しているとみなす。

ウ 通期の週休2日の達成は、対象期間内の現場閉所率が28.5%（8日／28日）以上の水準に達していることをもって判断する。

エ 完全週休2日（土日）が達成できない場合において、月単位の週休2日を達成した場合は、補正係数を月単位に変更するものとし、月単位の週休2日を達成できない場合においては、補正係数を除し、補正した労務費等を請負代金額の変更により減額するものとする。

(3) 受注者は、毎月末までに現場閉所実績報告書を作成し、翌月10日までに監督官に提出するものとする。ただし、工事完成月については、監督官が指定する日までに現場閉所実績報告書を提出するものとする。

8 提出書類

提出書類は以下の表を基準とし、様式についての記載がない書類は、監督官が書式を示す。

提出時期	書類等名	提出の可否等
開始前	現場代理人指名・変更通知書及び略歴書	要
開始前	協議書	要
開始前	工程表	要
開始前	緊急連絡先一覧表	要
開始前	施工体制台帳	必要時
開始前	技能士通知書	必要時
開始前	承認図、施工図等（任意様式）	要
開始前	入門許可申請書	必要時
開始前	仮設物設置申請書	必要時
実施中	材料検査簿	要
実施中	納品書、出荷証明書（任意様式）	要
実施中	産業廃棄物管理票（写し）	要
実施中	発生材通知書	要
実施中	残業届出書	必要時
実施中	火気使用申請書	必要時
実施中	臨時立入申請書	必要時
実施中	携帯型情報通信・記録機器持込み申請・許可書	必要時
実施中	受領書	必要時
実施中	現場閉所実績報告書	必要時
完成時	写真台帳（任意様式）	要
完成時	完成通知書	要
完成時	引渡書	要
完成時	機能性能試験成績書（任意様式）	必要時
完成時	完成図、報告書等（任意様式）	必要時
完成時	機器取扱い説明書等（任意様式）	必要時
完成時	官公署届出書類（各官公署等の書式による。）	必要時

9 写真

(1) 写真は、施工前、施工中、施工後、材料検査及び目視できない箇所の施工状況、その他監督官の指示により撮影し、各1枚を台帳に整理し提出する。また、写真撮影は、定点、同一方向から撮影する。

(2) 検査に合格したのち、写真データは削除するものとする。

10 材料

使用する材料は、JIS、JAS、JEC 及び JWWA 等の規格があるものは適合する新品とする。また、規格指定があるものは当該規格品又は同等品以上とし、事前に品質及び性能を有することの証明となる承認図等の資料を提出し、事前に監督官の承認を得るものとする。

11 官公署その他への届出等

(1) 工事の着工、施工及び完成にあたり、関係官公署その他関係機関への必要な届出、手続等を遅滞なく行うこと。

(2) 届出、手続等を行う前に、あらかじめ監督官に届出内容を報告するものとする。

(3) 関係法令等に基づく官公署その他関係機関の検査において、必要な資機材、労務等は契約相手方の負担により行うこと。

12 産業廃棄物及び発生材の処理等

(1) 本工事の施工により発生する産業廃棄物の処分（又は特定建設資材の再資源化に係る処分）は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和45年法律第137号）（又は建設工事に係る資材の再資源化に関する法律（平成12年法律第104号））に基づいて適正に処分するものとする。また、産業廃棄物管理票（マニフェスト）の写しを提出するものとする。

(2) 金属類等監督官の指示する発生材に関しては、発生材通知書を作成し、監督官の指定する場所へ集積するものとする。

13 完成検査

(1) 以下の全ての要件を満たす場合に検査官が実施する。ただし、検査官及び監督官の事前承諾を得た場合は、産業廃棄物管理票の写し及びその他提出書類を事後提出とできるものとする。

(2) 仕様書に示す全ての工事の完了

(3) その他監督官が指示する事項

14 関係書類の適正な管理

(1) 本仕様書及び写真等を、本工事に使用する目的以外で第三者に使用させてはならない。また、本工事の内容を漏洩してはならない。

(2) 契約相手方は、発注者から貸与された図面等を、施工完了後全て監督官に返納するものとする。

15 疑義その他

- (1) 疑義が生じた場合、監督官と協議のうえ打合せ簿に協議内容を記録し、協議内容のとおり実施するものとする。
- (2) 施工中は、他の工作物等に損害を与えないよう施工し、損害を与えた場合は、速やかに監督官に報告し、契約相手方の負担において復旧する。また、第三者等に損害を与えた場合は、速やかに監督官に報告し、契約相手方の責任において補償するものとする。

第3 特記事項

1 部品等更新

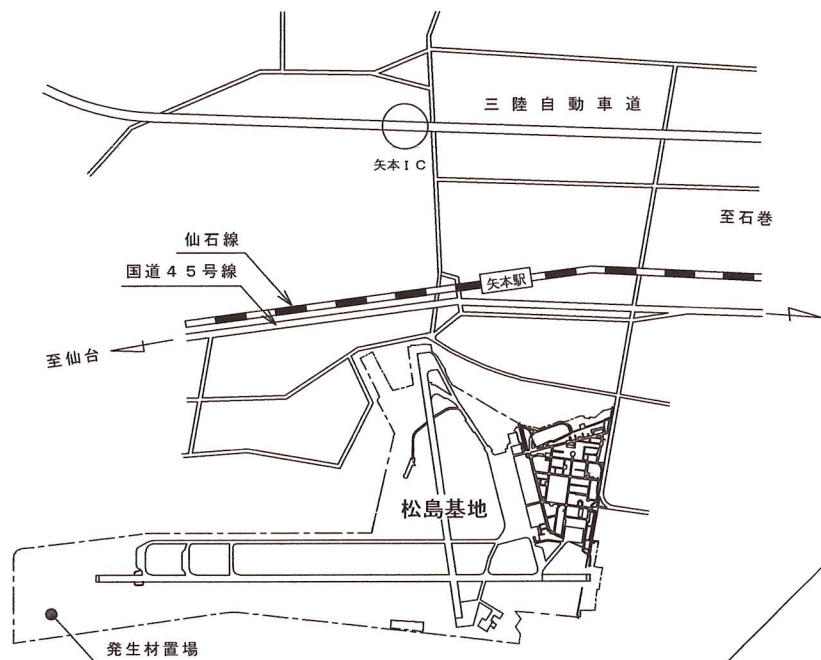
更新部品は、以下の部品（同等品以上可）を基準とする。細部は、図面を参考にするものとする。

施工場所	更新部品等	数量	既設メーカー等
施工場所①	消火ポンプ呼水槽	1 台	川本製作所
施工場所②	消火ポンプ呼水槽	1 台	
	圧力計	1 個	
	連成計	1 個	
施工場所③	デジタル式流量計	1 個	株式会社荏原製作所
	消火ポンプ制御盤基盤	1 個	
施工場所④	デジタル式流量計	1 個	株式会社荏原製作所
	消火ポンプ制御盤基盤	1 個	
	軸受けケーシング	2 個	
施工場所⑤	流量計	1 個	株式会社荏原製作所
施工場所⑥	水成膜泡消火薬剤 ※	242L	DKウォーター 3 %
	ラバーバック	1 枚	
施工場所⑦	移動式粉末消火設備	7 台	日本ドライケミカル株式会社
	太陽電池式表示灯	7 台	
	消火器格納箱	7 個	
施工場所⑧	移動式粉末消火設備	4 台	ヤマトプロテック株式会社

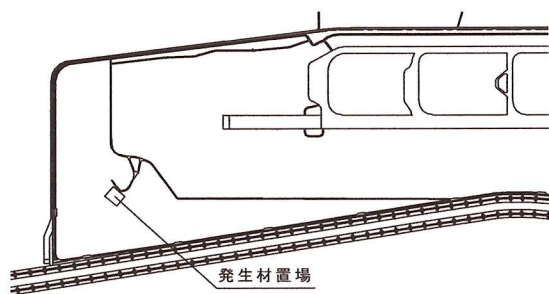
※ 既設泡消火薬剤収集容器及び新品泡消火薬剤は、監督官が指示した官給支給品とする。

2 部品更新後の点検内容

部品更新後、消防法に基づいた点検を実施するものとする。

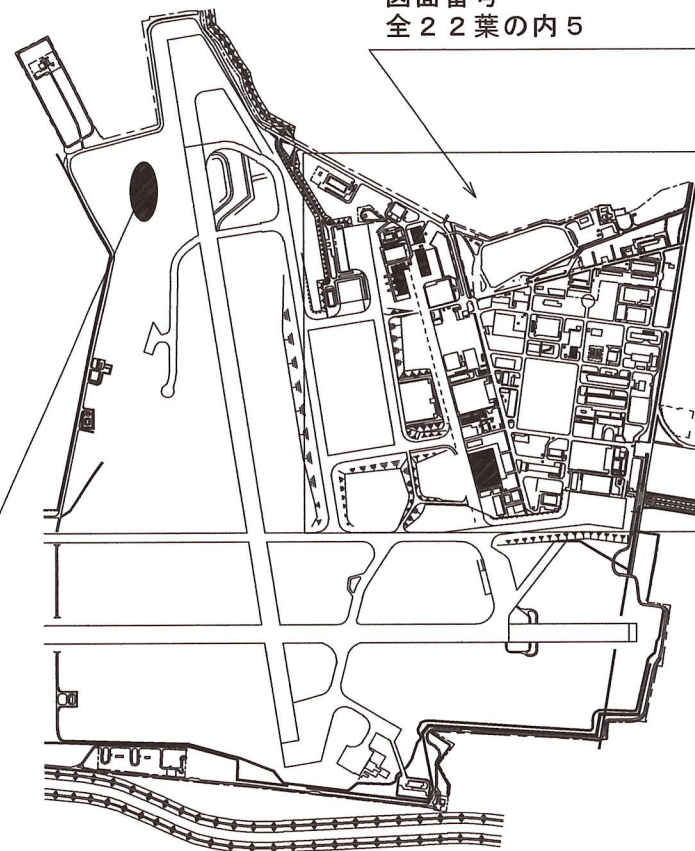


案内図



発生材置場

基地全体図
施工場所⑦
図面番号
全22葉の内5



配置図

基地全体図
施工場所①～⑧（⑦を除く。）
図面番号
全22葉の内5

工事完了後要返却 工事関係者以外不許複製

工事 名称	消火設備部品更新工事	図面 番号	全22葉 の内4
図面 名称	案内図、配置図、発生材置場	図面 縮尺	

松島基地施設隊

令和8年6月9日

施工場所⑧
図面番号
全 2 2 葉の内 2 1

施工場所⑥
図面番号
全 2 2 葉の内 1 6

施工場所⑤
図面番号
全 2 2 葉の内 1 4

施工場所④
図面番号
全 2 2 葉の内 1 2

施工場所③
図面番号
全 2 2 葉の内 1 0

施工場所②
図面番号
全 2 2 葉の内 8

施工場所①
図面番号
全 2 2 葉の内 6

施工場所⑦
図面番号
全 2 2 葉の内 1 8

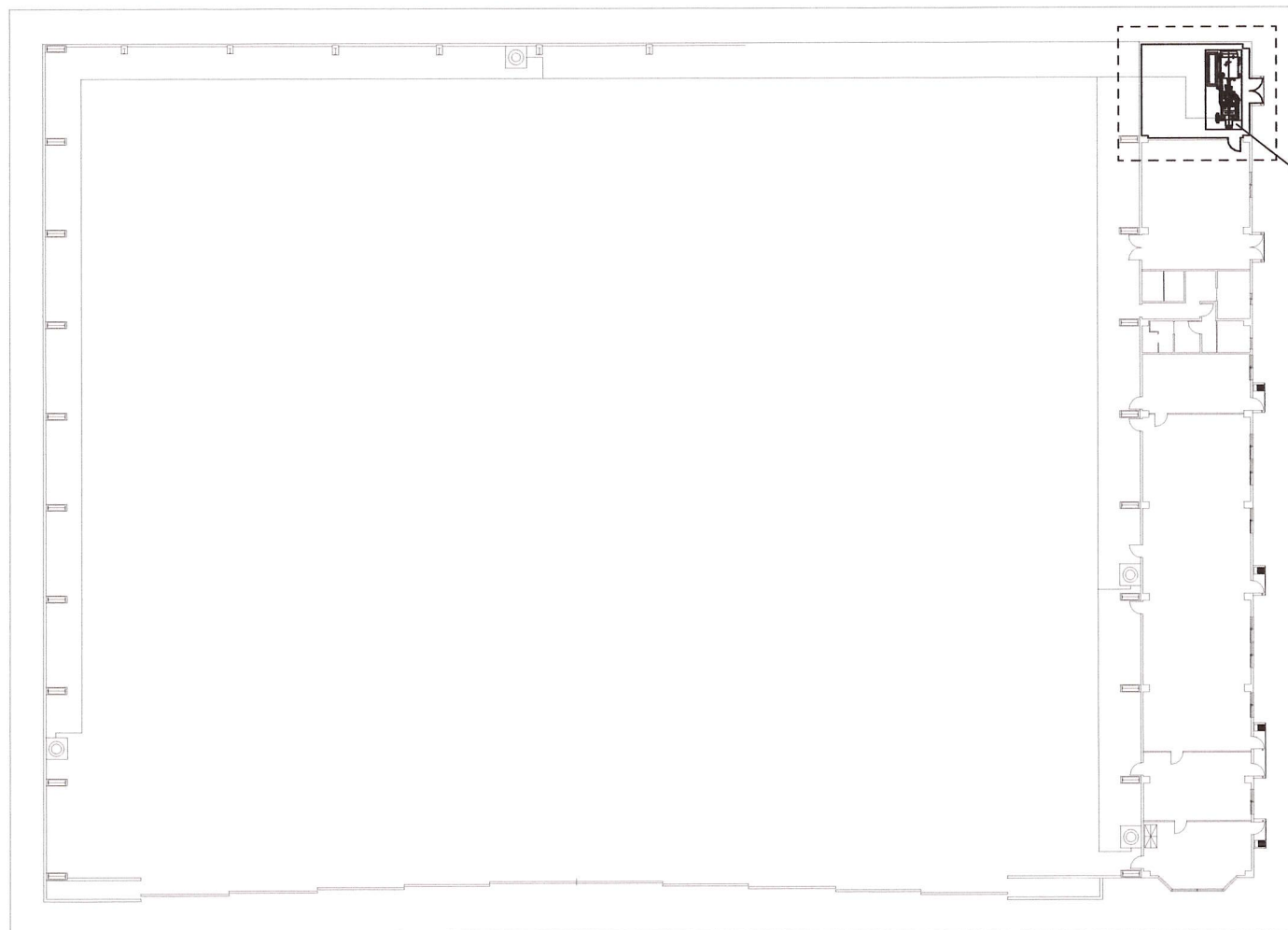
基地全体図

工事完了後要返却 工事関係者以外不許複製

工事 名称	消火設備部品更新工事	図面 番号	全 2 2 葉 の内 5
図面 名称	基地全体図	図面 縮尺	

松島基地施設隊

令和 8 年 6 月 9 日



既設消火ポンプ
図面番号
全 2 2 葉の内 7

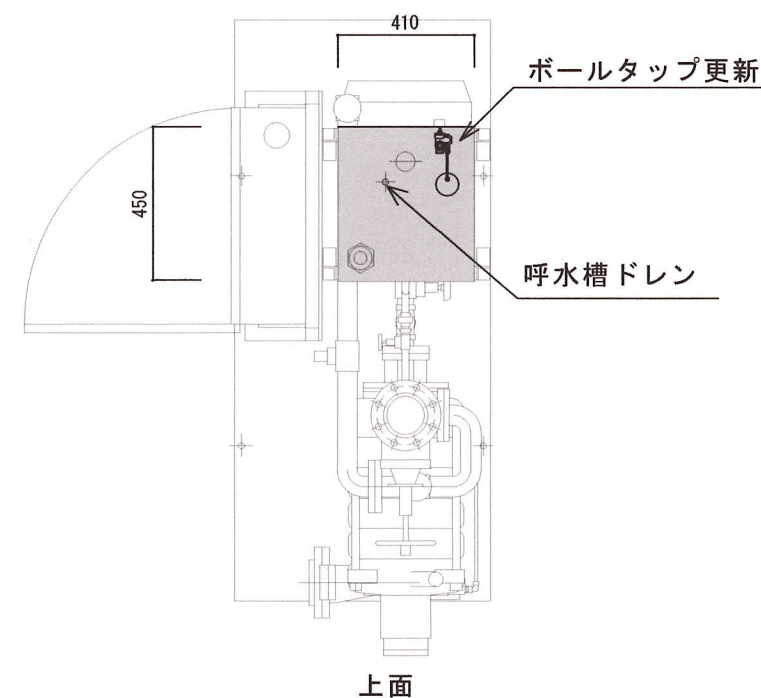
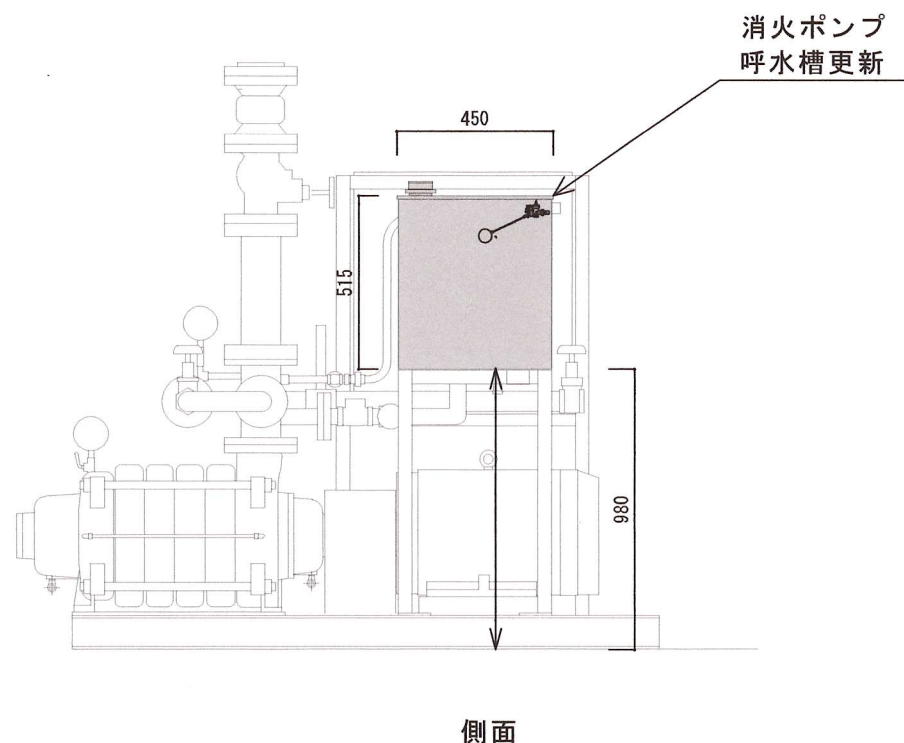
施工場所①

工事完了後要返却 工事関係者以外不許複製

工事 名称	消火設備部品更新工事	図面 番号	全 2 2 葉 の内 6
図面 名称	施工場所① 全体図	図面 縮尺	
松島基地施設隊		令和 8 年 6 月 9 日	

更新部品 (ポンプ型式 : 川本製作所 KTY1005A5M30)

名称	規格	容量
呼水槽	TA2-5	50L
ボールタップ	SH13 2K	



施工場所①

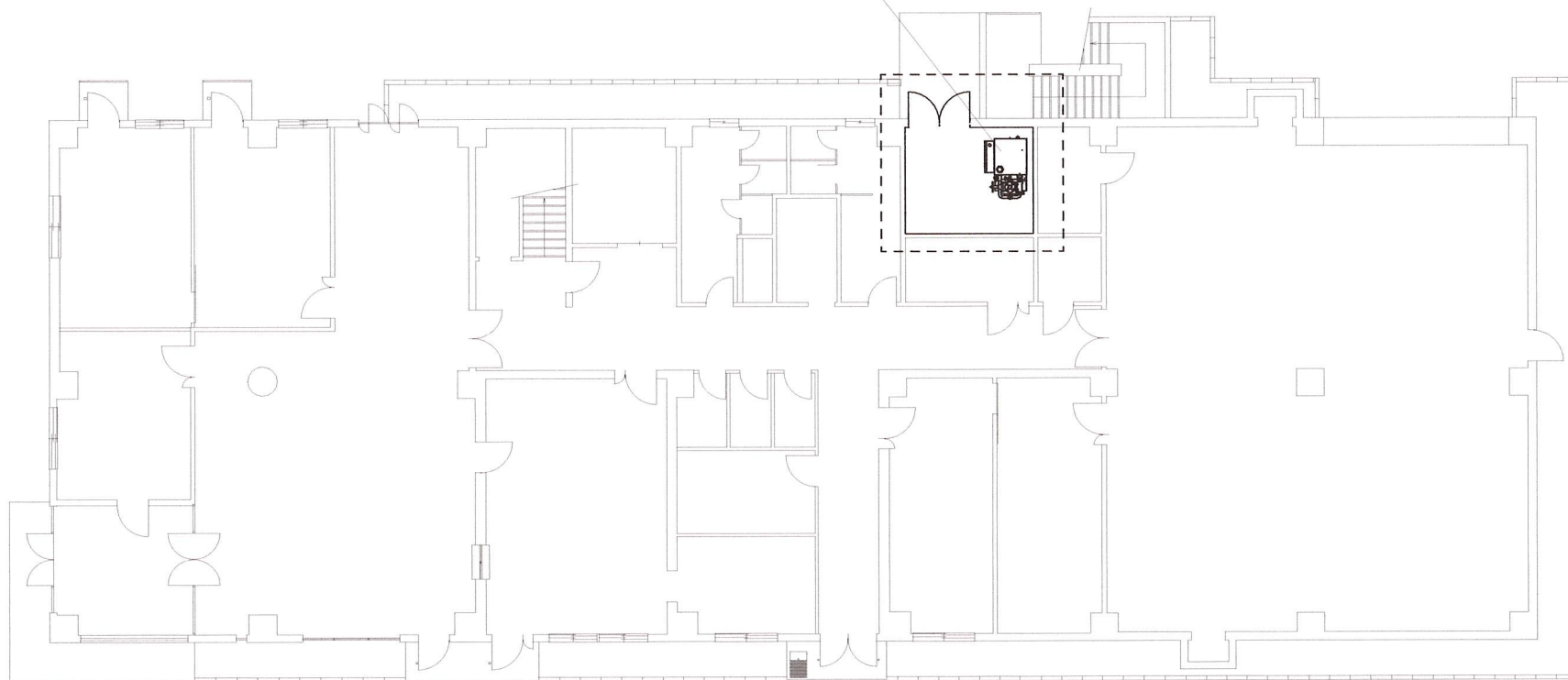
工事完了後要返却 工事関係者以外不許複製

工事 名称	消火設備部品更新工事	図面 番号	全22葉 の内7
図面 名称	施工場所① 既設部品	図面 縮尺	

松島基地施設隊

令和8年6月9日

既設消火ポンプ
図面番号
全 2 2 葉の内 9



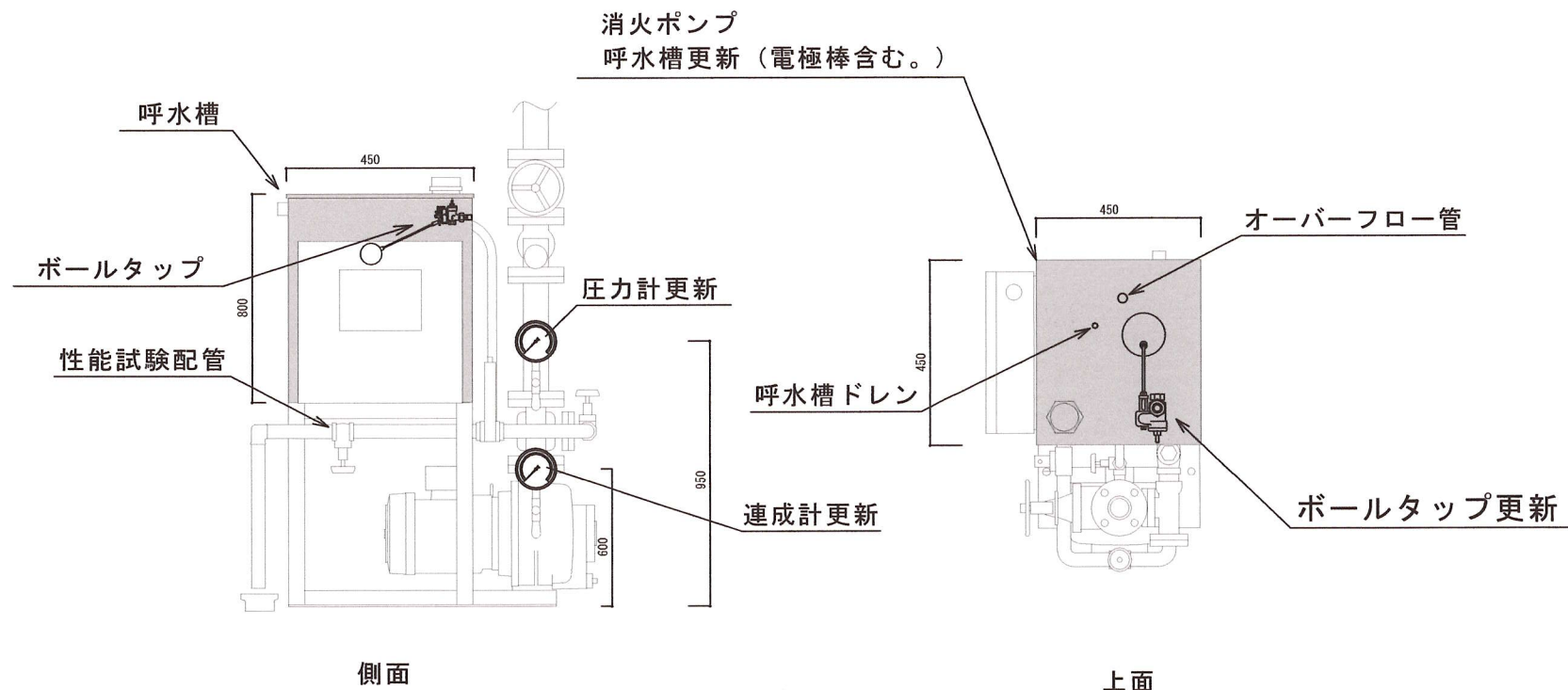
施工場所②

工事完了後要返却 工事関係者以外不許複製

工事 名称	消火設備部品更新工事	図面 番号	全 2 2 葉 の内 8
図面 名称	施工場所② 全体図	図面 縮尺	
松島基地施設隊		令和 8 年 6 月 9 日	

更新部品（ポンプ型式：KTK405G2.2）

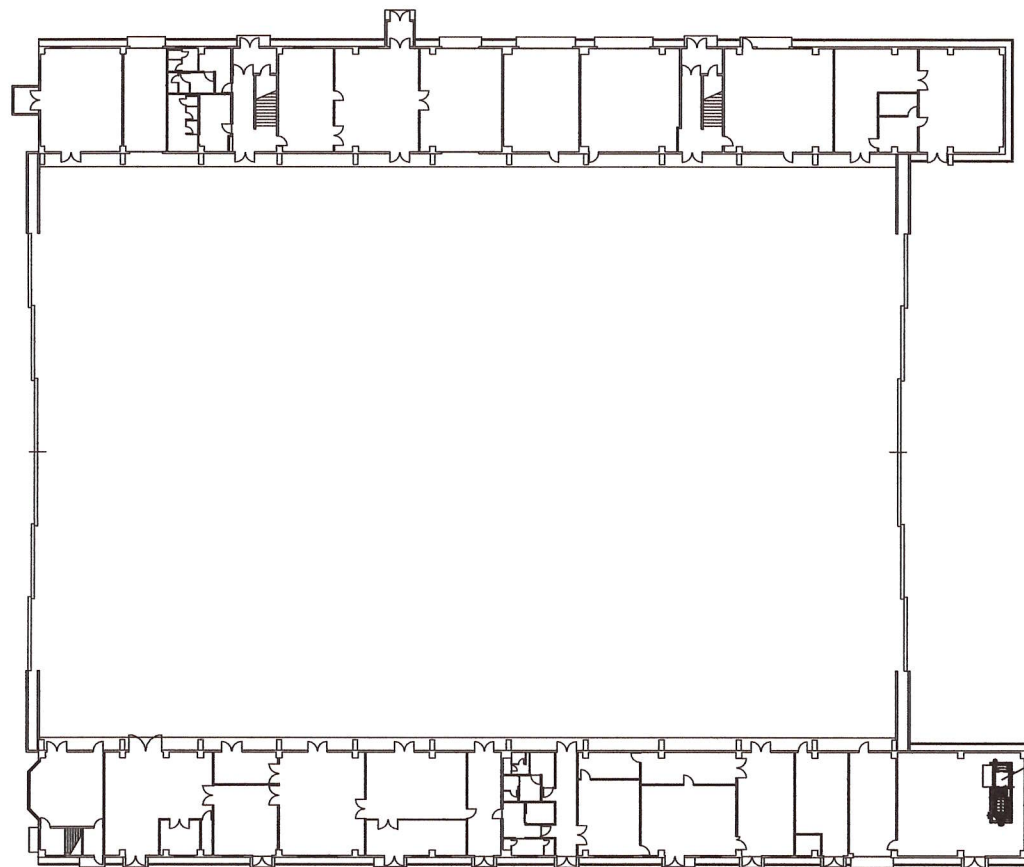
名称	規格	容量
呼水槽	TA2-10	100L
圧力計	JIS B 7505-1	
連成計	JIS B 7505-1	
ボールタップ	SH13 2L	



施工場所②

工事完了後要返却 工事関係者以外不許複製

工事名称	消火設備部品更新工事	図面番号	全22葉の内9
図面名称	施工場所② 既設部品	図面縮尺	
松島基地施設隊		令和8年6月9日	



既設消火ポンプ
図面番号
全22葉の内11

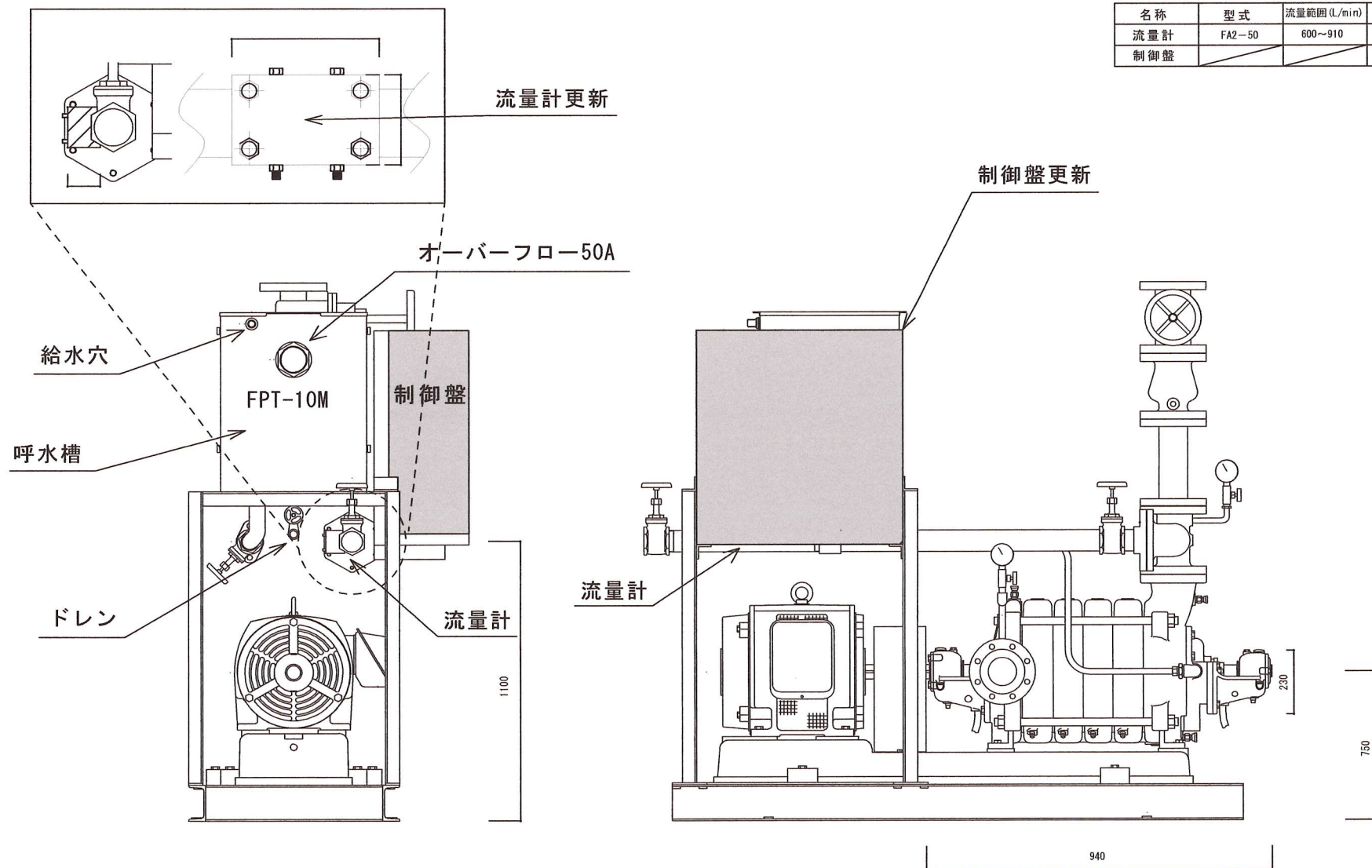
施工場所③

工事完了後要返却 工事関係者以外不許複製

工事 名称	消火設備部品更新工事	図面 番号	全22葉 の内10
図面 名称	施工場所③ 全体図	図面 縮尺	
松島基地施設隊		令和8年6月9日	

更新部品（ポンプ型式：荏原 80MAFU5522）

名称	型式	流量範囲 (L/min)	備考
流量計	FA2-50	600~910	デジタル方式
制御盤			基盤更新



施工場所③

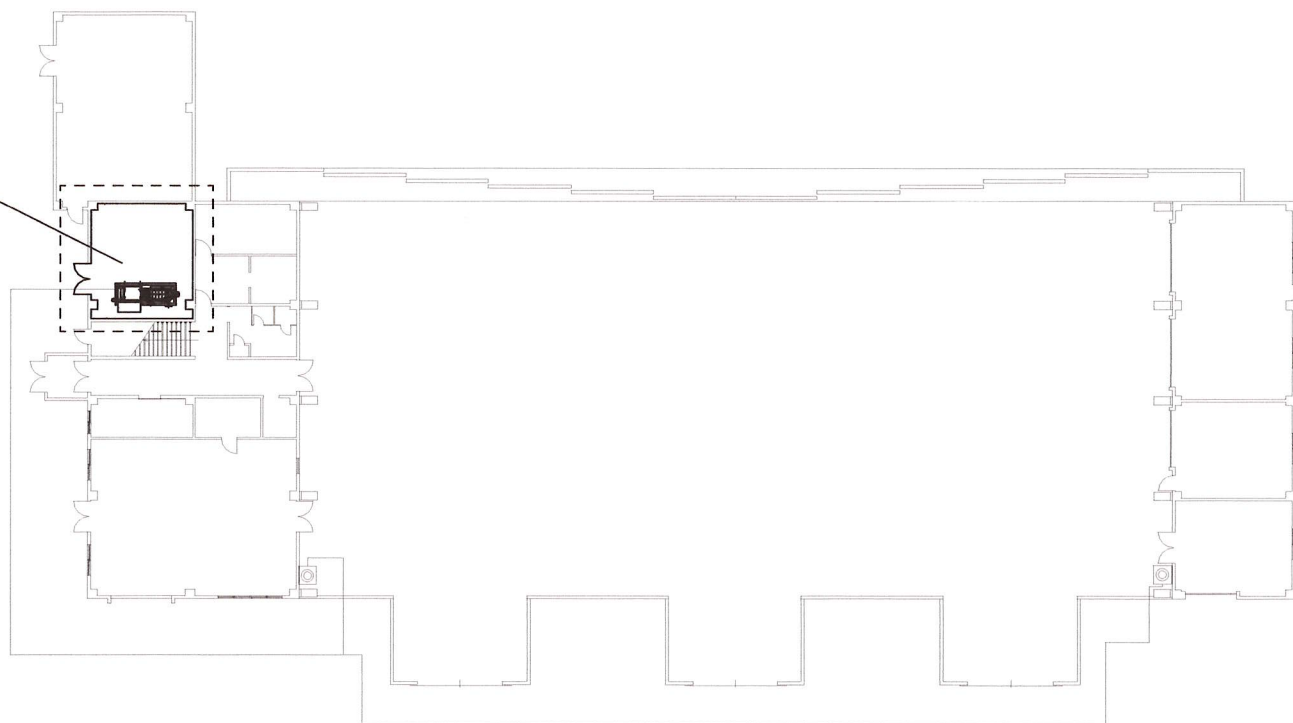
工事完了後要返却 工事関係者以外不許複製

工事名称	消火設備部品更新工事	図面番号	全22葉の内11
図面名称	施工場所③ 全体図	図面縮尺	

松島基地施設隊

令和8年6月9日

既設消火ポンプ
図面番号
全 2 2 葉の内 1 3

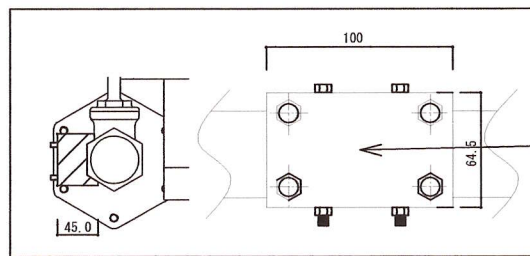


施工場所④

工事完了後要返却 工事関係者以外不許複製			
工事 名称	消火設備部品更新工事	図面 番号	全 2 2 葉 の内 1 2
図面 名称	施工場所④ 全体図	図面 縮尺	
松島基地施設隊		令和 8 年 6 月 9 日	

更新部品（ポンプ型式：荏原 80MAFU5522）

名称	型式	流量範囲 (L/min)	備考
流量計	FA2-50	240~1200	デジタル方式
軸受けケーシング	MRG40		
軸受けケーシング	MRG34		
制御盤			基盤更新



流量計更新

オーバーフロー50A

給水穴

FPT-10M

呼水槽

制御盤

ドレン

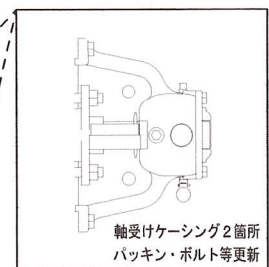
流量計

1100

制御盤更新

流量計

制御盤



軸受けケーシング2箇所
パッキン・ボルト等更新

230

750

940

施工場所④

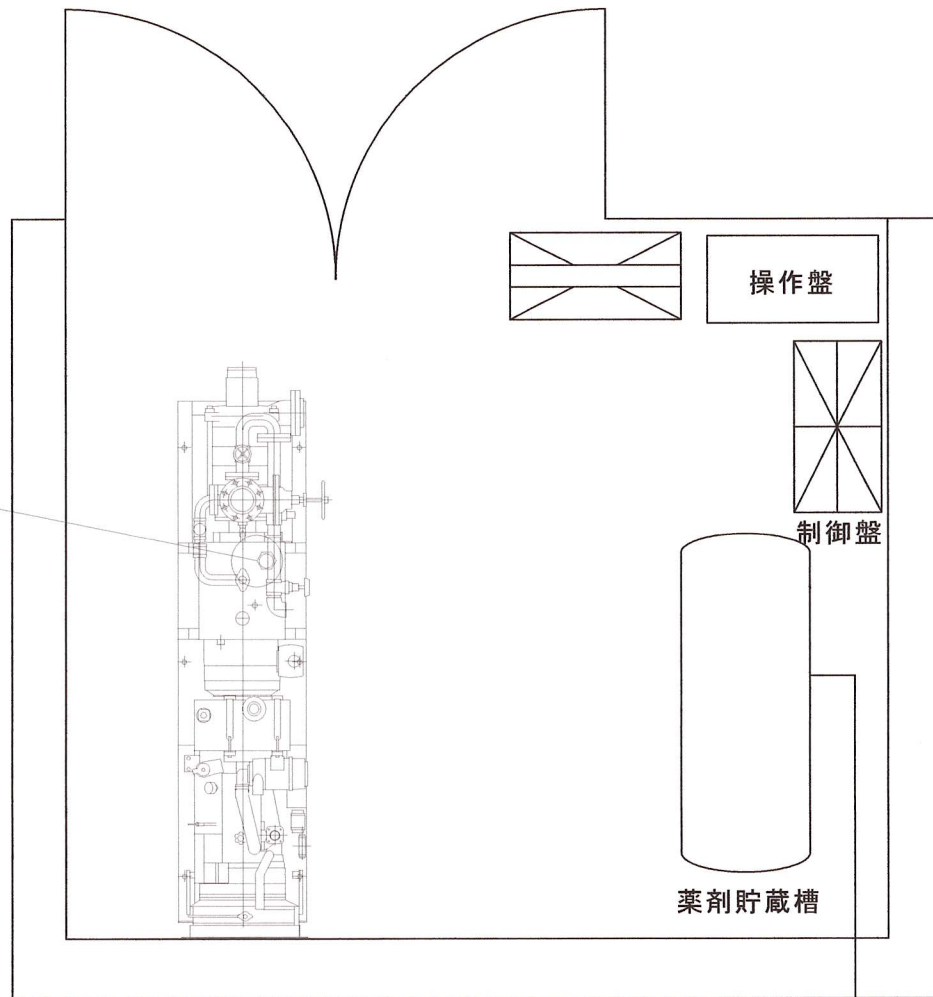
工事完了後要返却 工事関係者以外不許複製

工事名称	消火設備部品更新工事	図面番号	全22葉の内13
図面名称	施工場所④ 既設部品	図面縮尺	

松島基地施設隊

令和8年6月9日

既設消火ポンプ
図面番号
全 2 2 葉の内 1 5



施工場所⑤

工事完了後要返却 工事関係者以外不許複製

工事 名称	消火設備部品更新工事	図面 番号	全 2 2 葉 の内 1 4
図面 名称	施工場所⑤ 全体図	図面 縮尺	

松島基地施設隊

令和 8 年 6 月 9 日

流量計更新

更新部品（ポンプ型式：荏原 125MSFU3ME522）

型式	流量範囲(L/min)	1目盛(L/min)	接続(D)	L(mm)	質量(kg)
FBM (20) -65	300~1600	50	Rc2 1/2	100	3

非常動力装置

施工場所⑤

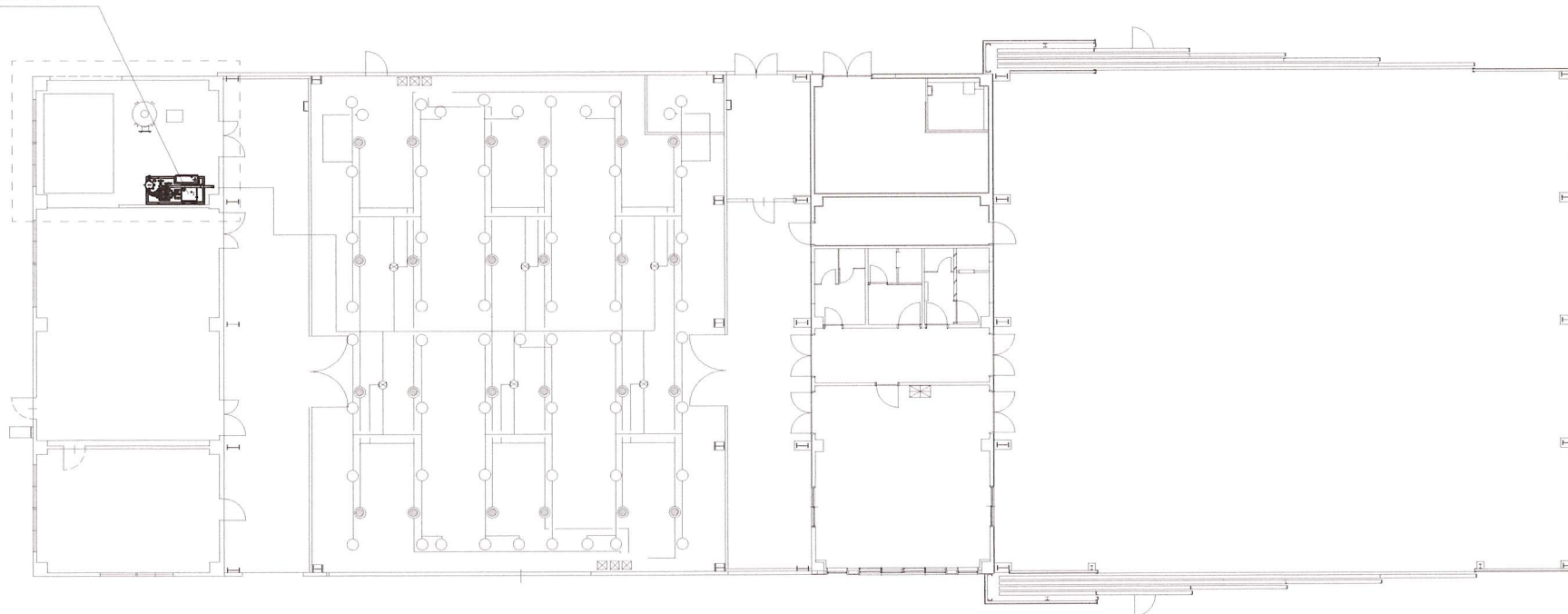
工事完了後要返却 工事関係者以外不許複製

工事 名称	消火設備部品更新工事	図面 番号	全22葉 の内15
図面 名称	施工場所⑤ 既設部品	図面 縮尺	

松島基地施設隊

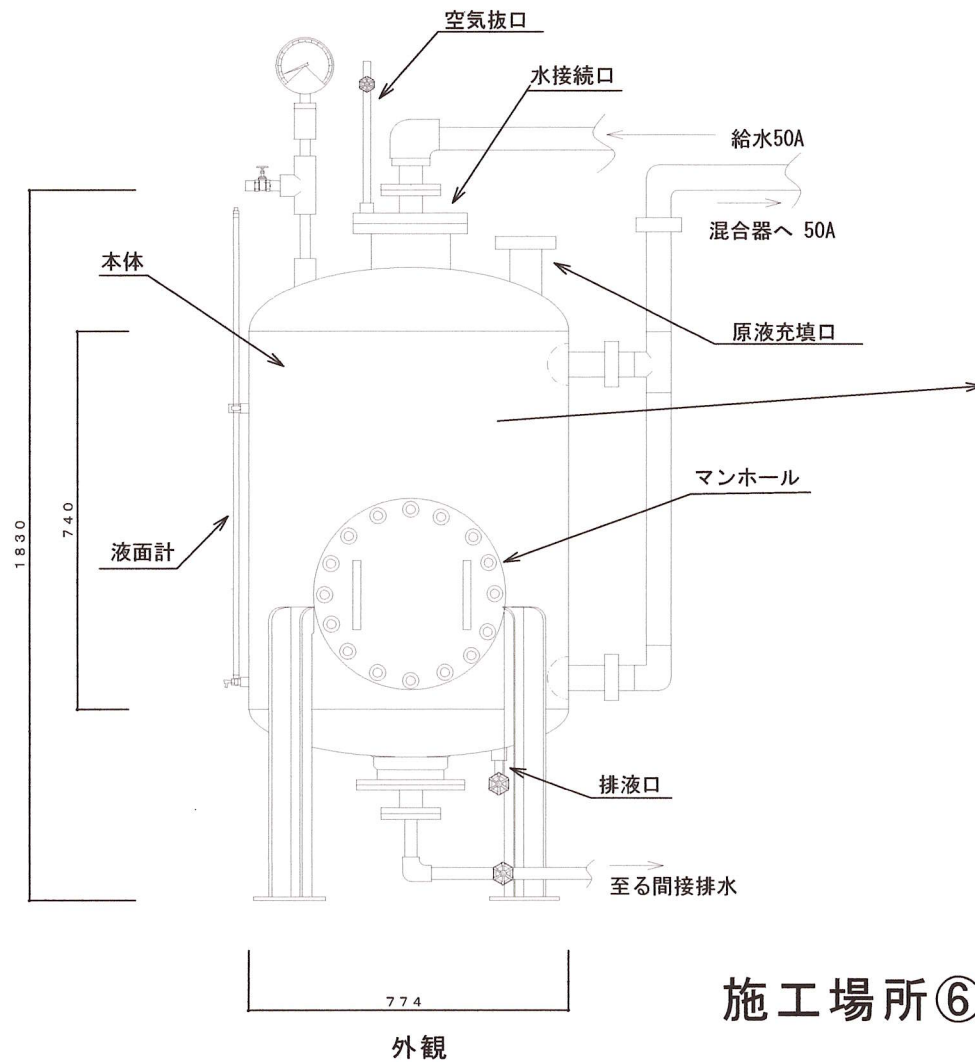
令和8年6月9日

既設消火ポンプ
図面番号
全 2 2 葉の内 1 7



施工場所⑥

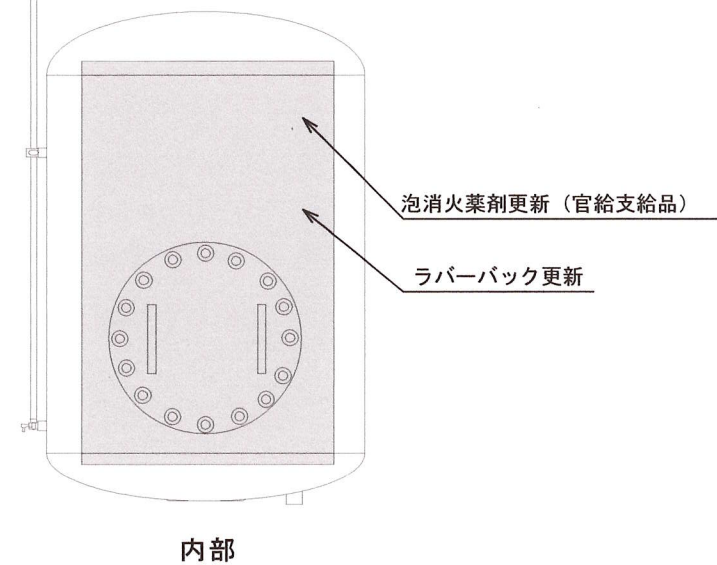
工事完了後要返却 工事関係者以外不許複製			
工事 名称	消火設備部品更新工事	図面 番号	全 2 2 葉 の内 1 6
図面 名称	施工場所⑥ 全体図	図面 縮尺	
松島基地施設隊		令和 8 年 6 月 9 日	



施工場所⑥

更新部品（メーカー：ホーチキ株式会社）

名称	容量	備考
ラバーバック	1枚	泡消火薬剤貯蔵槽 GFT-BA300-BA
泡消火薬剤	242L	DKウォーター（官給支給品）



工事完了後要返却 工事関係者以外不許複製

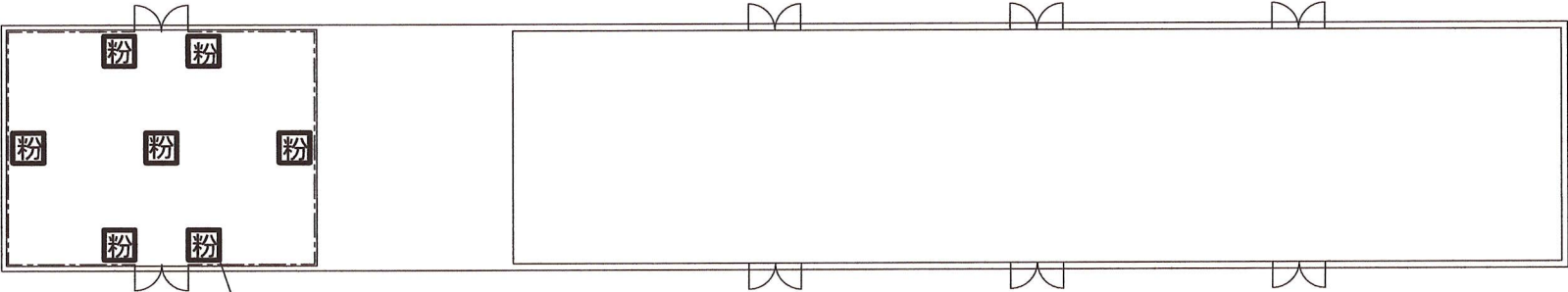
工事名称	消火設備部品更新工事	図面番号	全22葉の内17
図面名称	施工場所⑥ 既設部品	図面縮尺	

松島基地施設隊

令和8年6月9日

粉	移動式粉末消火設備
---	-----------

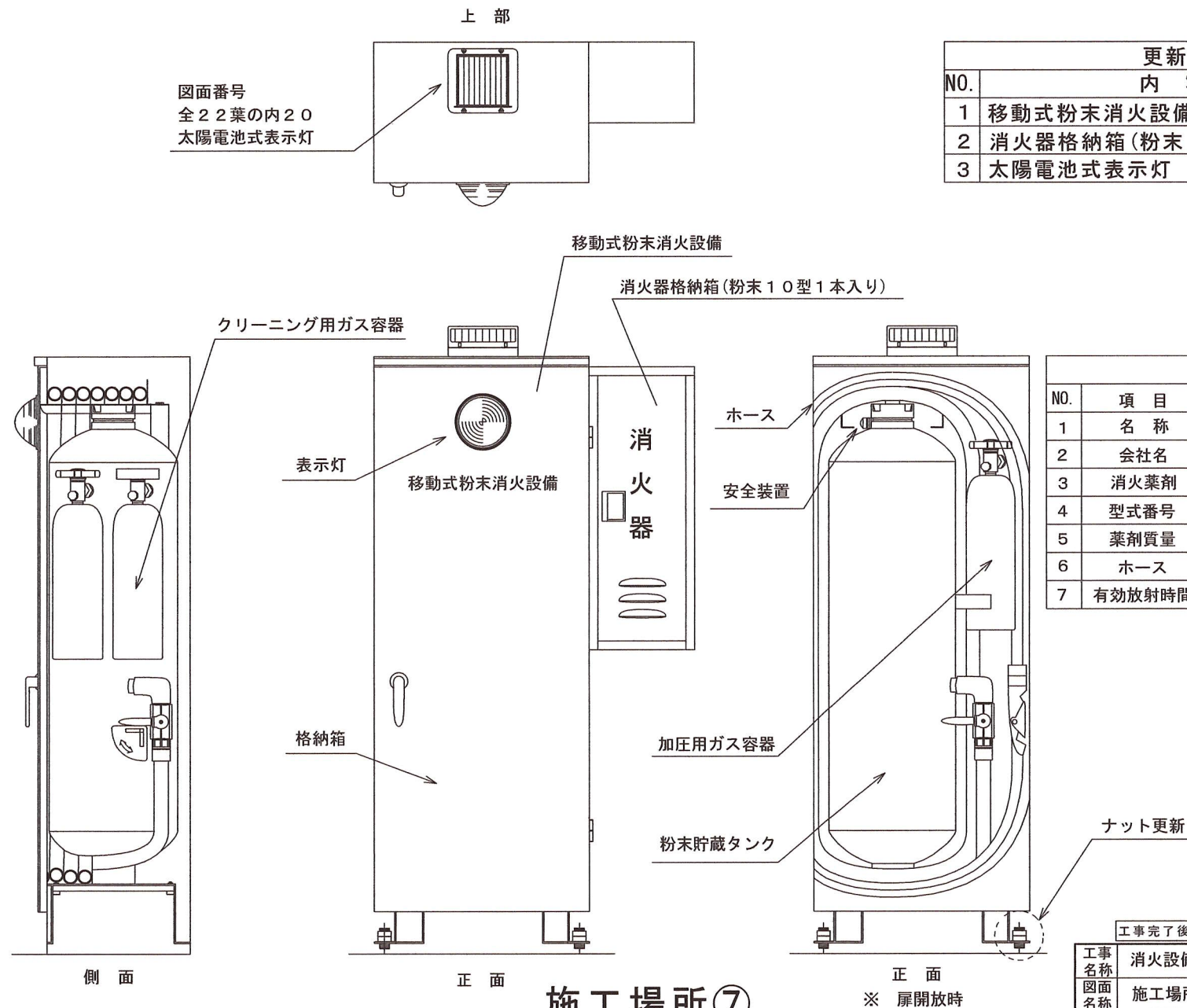
移動式粉末消火設備 7 台



図面番号
全 2 2 葉の内 1 9

施工場所⑦

工事完了後要返却 工事関係者以外不許複製			
工事名称	消火設備部品更新工事	図面番号	全 2 2 葉の内 1 8
図面名称	施工場所⑦ 全体図	図面縮尺	
松島基地施設隊		令和 8 年 6 月 9 日	

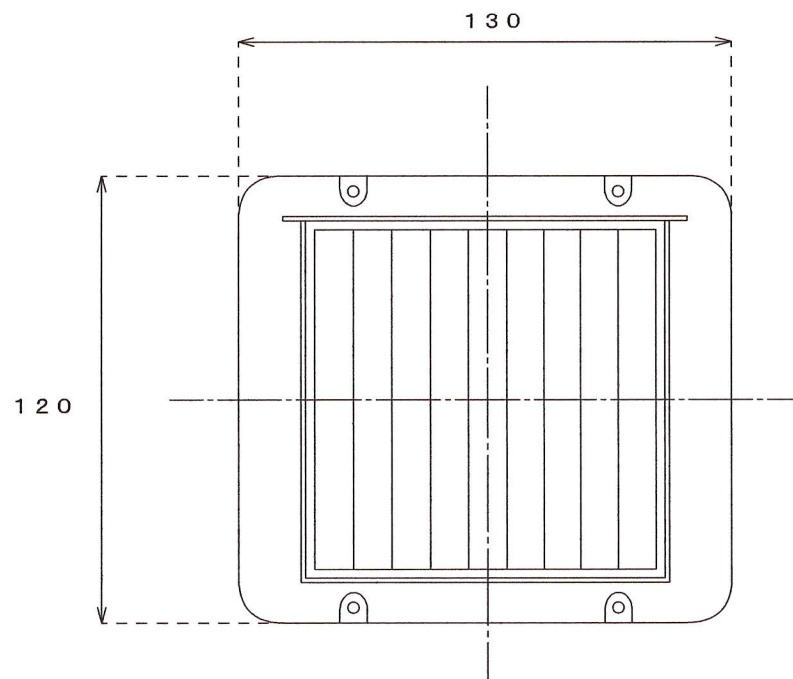


更新部品		
NO.	内 容	数量
1	移動式粉末消火設備	7 台
2	消火器格納箱(粉末10型1本入り)	
3	太陽電池式表示灯	

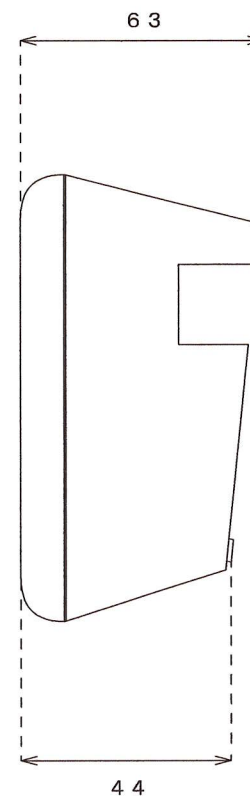
凡 例		
NO.	項 目	内 容
1	名 称	移動式粉末消火設備
2	会社名	日本ドライケミカル株式会社
3	消火薬剤	第3種粉末(ABC)
4	型式番号	エクステンパンサーPAN-100
5	薬剤質量	33.0kg
6	ホース	20m
7	有効放射時間	約63秒

施工場所⑦

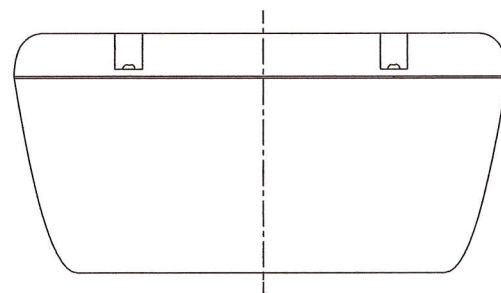
工事完了後要返却 工事関係者以外不許複製			
工事 名称	消火設備部品更新工事	図面 番号	全22葉 の内19
図面 名称	施工場所⑦ 既設部品	図面 縮尺	
松島基地施設隊		令和8年6月9日	



上 部



側 面



裏 面

太陽電池式表示灯 7 台更新

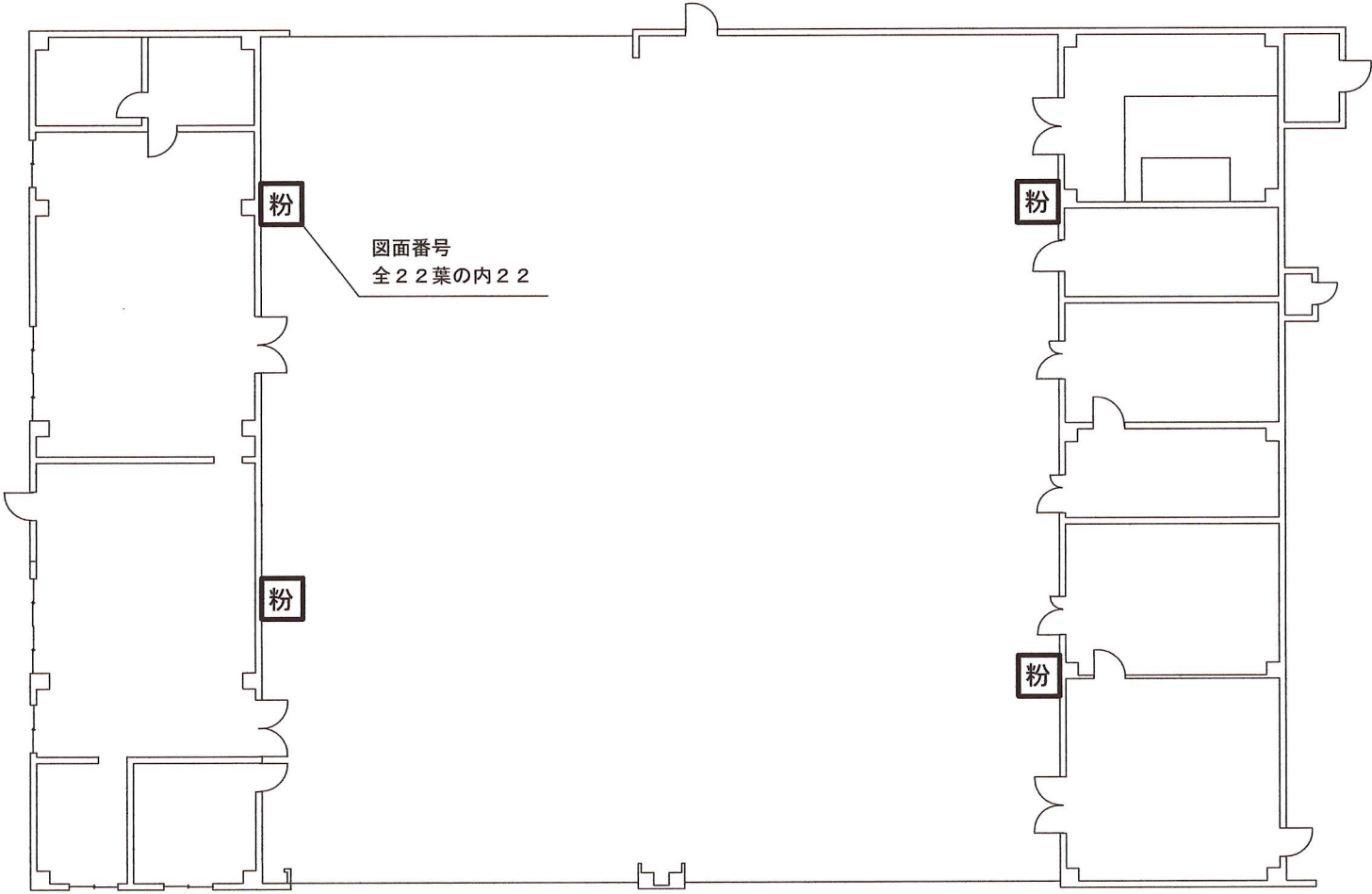
施工場所⑦

工事完了後要返却 工事関係者以外不許複製

工事 名称	消火設備部品更新工事	図面 番号	全 22 葉 の 内 20
図面 名称	太陽電池式表示灯	図面 縮尺	
松島基地施設隊		令和 8 年 6 月 9 日	

移動式粉末消火設備 4 台

粉	移動式粉末消火設備
---	-----------



図面番号
全 2 2 葉の内 2 2

施工場所⑧

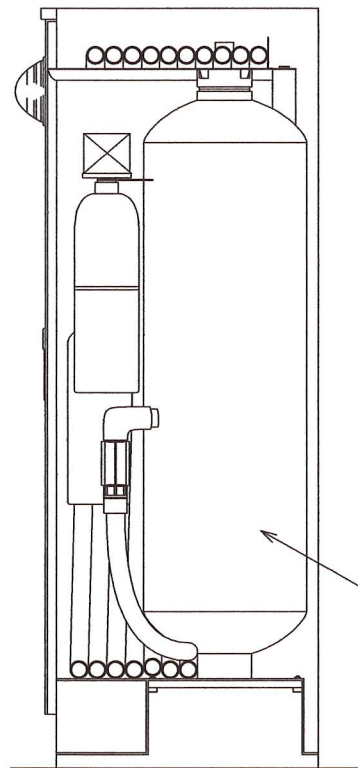
工事完了後要返却 工事関係者以外不許複製

工事 名称	消火設備部品更新工事	図面 番号	全 2 2 葉 の内 2 1
図面 名称	施工場所⑧ 全体図	図面 縮尺	
松島基地施設隊		令和 8 年 6 月 9 日	

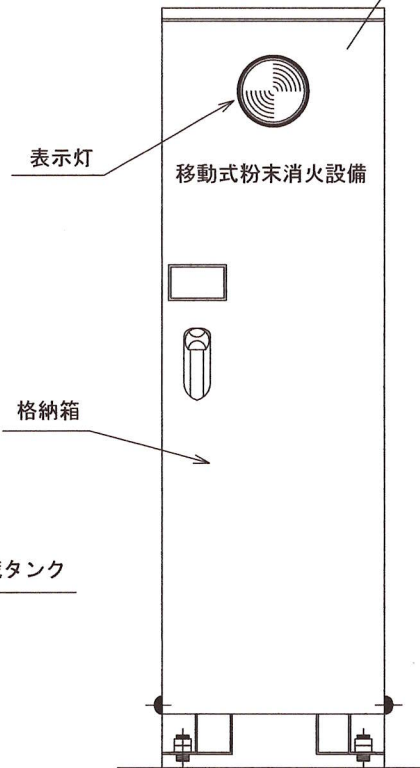
上 部

更新部品		
NO.	内 容	数量
1	移動式粉末消火設備	4 台

移動式粉末消火設備更新 4 台

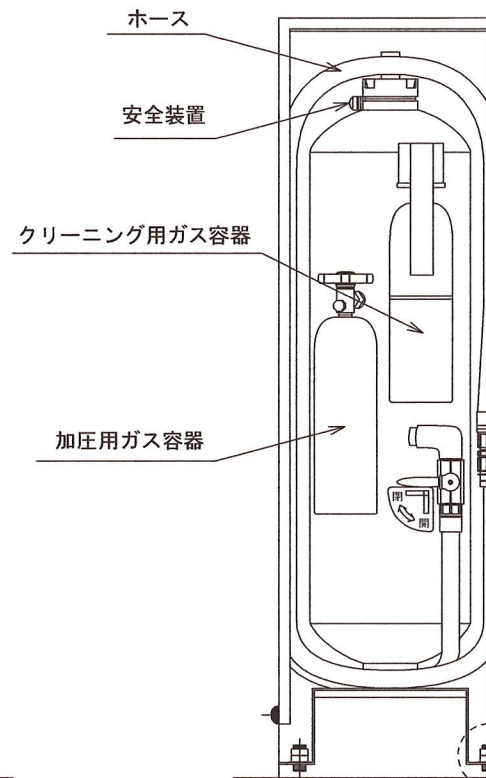


側 面



正 面

施工場所⑧



正 面
※ 扉開放時

凡 例		
NO.	項 目	内 容
1	名 称	移動式粉末消火設備
2	会社名	ヤマトプロテック株式会社
3	消火薬剤	第3種粉末 (ABC)
4	型式番号	YDA-75CAJ (加圧式)
5	薬剤質量	33.0kg
6	ホース	20m
7	有効放射時間	約65秒

ナット更新

工事完了後要返却 工事関係者以外不許複製

工事 名称	消火設備部品更新工事	図面 番号	全22葉 の内22
図面 名称	施工場所⑧ 既設部品	図面 縮尺	

松島基地施設隊

令和8年6月9日